

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日時：令和5年12月1日（金曜日）10時00分～11時00分

場所：しおさい会議室

出席者：5人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人		
事業所職員（職名：施設長 主任 ユニットリーダー）			3名

報告事項：

利用状況

- ① 入所者の人数 20名（退所2名 入所4名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 8名 ・ 要介護4 11名
要介護3 1名
- ③ 男女比率 男性3名 ・ 女性17名
- ④ 年齢 64歳～101歳 平均87.0歳

介護状況

- ① 起き上がり全介助 14名
- ② 胃瘻 0名
- ③ 排せつ全介助 18名
- ④ チェアインバス：ストレッチャー入浴 11名：9名
- ⑤ 肺炎入院 0名
- ⑥ 褥瘡 1名（病院で形成 徐々に改善）
- ⑦ 重度拘縮 0名
- ⑧ 苦情相談 0件
- ⑨ 身体拘束 0
- ⑩ 受診以上の介護事故 0件

1、施設長挨拶

コロナは落ち着いているがインフルエンザが流行している。職員1名、インフルエンザにかかって休んでいる状況だが利用者への感染はない。12月6日に邇摩高校の家庭クラブと交流があるが玄関での交流とする。お互い気を付けていけたらと思う。会議後、施設内見学をして各項目に評価をお願いしたい。

2、新型コロナウイルス感染症対応状況

	感染対応の概要	
	インフルエンザウイルス	新型コロナウイルス
利用者罹患	0名	0名
職員罹患	1名	0名
受診	0名	0名
介護	通常対応中	
面会	通常対応中 一般：窓越し面会 看取り：直接面会	
外出	外部受診：家族協力によるもの0名 施設送迎によるもの1名 一時帰宅：0名 職員付き添いのない外出時は3日間居室過ごしを依頼	

3、ユニット活動状況

・11月16日に新館利用者対象で法話会を行った。年間2回行っている。一緒にお経を読んで熱心に法話を聞いておられた。

・10月11月は利用者の入れ替わりがあり、比較的元気な方が入所されたので軽度の方に対しての活動を行っている。ハサミが使える方はハサミを使って紙を丸く切る、貼り絵が得意な方は好きな色合いで貼り付けていく、など、出来る人が自分のできることを行い、画用紙や折り紙でクリスマスツリーを作って壁に飾った。少しずつできていく作品をみて「あと少しだね」「どんなになるかね」と利用者同士で話をされていた。今は完成して、写真を撮るスポットになっている。

4、意見交換

(地域住民代表) 邇摩高校の実習は何名くるのか？介護のカリキュラムもあるのか。

⇒(施設長)4名きた。実習先は2名ずつ分かれて行った。実習を終了すれば初任者研修の資格が取得できる。

(市役所職員) 口腔ケア指導の件で年間2回の実施はどのようになっているのか。

⇒(ユニットリーダー) 口腔内の炎症なし・残渣ありの利用者が18名おられその人を対象にどのような口腔ケアを行えば良いか先生に質問をした。番茶での口腔ケアやリステリンのうがい薬の使用、割りばしにガーゼを巻いて歯ブラシのように使用するなど色々な意見を頂き、家族に協力を得ながら、これから実践して行く状態。

(市役所職員)

空気が乾燥し、気温も低くなっている。インフルエンザやノロウイルスが冬に多発するので気をつけて欲しい。十分に手洗い、消毒を行うこと。ノロウイルスには塩素消毒が有効。飛沫や接触で感染するので吐物の処置の仕方も気を付けてほしい。

令和6年1月18日に認知症に関する講演会があり。興味のある人は行ってみてほしい。

5、施設見学

- ・ 整理整頓、清掃等についてアンケートを実施した

次回予定 令和6年2月2日(金曜日)10時～11時